

## 提案趣旨説明書

〈作品タイトル〉

### BEHIND THE LINES 高架の向こうにも道は続く

〈提案の趣旨〉

三河安城を歩きたくなる街にするという目標に対して、私たちは鉄道や道路の高架構造物に着目し、積極的に通り抜けて行きたい場所と、通り抜ける道の経路について提案しました。新アリーナ建設による駅前やアプローチの開発という推進力を活かして、この提案がより広い範囲に歩く人の流れを広げていけるものと考えています。

駅前には新しい連絡橋とロータリーに替わる乗降レーンを新設して、スムーズな交通を確保したうえで空いたスペースにスポーツとイベントで使用できる広場を提案しました。Bリーグチームのホームタウンにふさわしいユニークさを持ち、駅前に来た人を誰でも受け入れる駅前空間を目指しています。自由に歩ける駅前空間は、駅前で途切れる明治用水の遊歩道を結びつける役割を果たし、徒歩圏を広げることになります。

アリーナとそのアプローチ道路には、近い将来から賑わいが期待されます。ここで生まれた人の流れを街に広げていくためにループ状の散策路を提案しました。これは街の特徴ある場所や道路をつなぎ合わせた周回できる散策路の計画で、実現には高架の通り抜けが必要です。高架下の環境改善を図り、楽しく通り抜ける場所となるようにアートワーク化とマーケット実施の提案を行っています。

駅前広場とアリーナの間には、新幹線の高架下につながる南北方向の短い道があります。ここには駐車場やマチナカスペースをはじめとした屋外空間が散在し、その一部を使用してマーケットを開催、マーケット通りとして位置づけることも提案しました。マーケットによる定期的な賑わいは人の流れを定着し、ほかの提案と合わせて人の流れをつなぎ合わせることが期待できます。